

秋田県デジタル化推進プラットフォーム（仮称）の構築について

1 課題

本県の行政と産業でデジタル化が進んでいない。

・行政

各部局等が抱える政策課題について、デジタル技術で解決する意識・知識が不足している。

→「デジタル技術で解決し得る課題として認識できているか。」

・産業

行政課題に対して個別に踏み込んだ提案ができていない。

→「デジタル技術を用いたソリューションを行政側の課題認識に立って提案できているか。」

2 目的

各部局等が抱える課題の解決を図るため、民間企業のデジタル技術を活用する秋田県デジタル化推進プラットフォーム（仮称、以下「プラットフォーム」という。）を構築し、課題と解決手法のマッチングを図りながら、本県のDX実現に向けデジタル化を一層促進する。

3 概要

(1) 構成

- ・相談側：各部局等、秋田県デジタルイノベーションコンソーシアム（以下「コンソーシアム」という。）の会員企業・団体
- ・提案側：秋田デジタル化サポート企業（仮称、プラットフォーム登録企業であり、県内外の企業を想定。コンソーシアム会員も登録可。）

(2) 管理・運営

- ・県はDX推進アドバイザーから助言を得ながら、管理運営者を選定する。
- ・管理運営者は、プラットフォームに参加する民間企業を集め、各部局等の相談案件に対応する。
- ・DXセンターは、DX推進アドバイザーや産業技術センター等と連携し、プラットフォームの円滑な運営ができるよう管理運営者をサポートする。

<参考>活用フロー

- (1) 各部局等やコンソーシアム会員は、課題解決に向けプラットフォームを活用する場合は、DXセンターに相談する。
- (2) DXセンターは、DX推進アドバイザーや産業技術センター等と連携しながら、管理運営者と共にプラットフォームの活用案件を検討する。
- (3) 管理運営者は、最適なソリューションの創出に向け、相談側と提案側のマッチングを図る。
- (4) 各部局等は、サポート企業の提案を参考にして、事業化を検討する。
- (5) 事業実施後は、プラットフォームを通じてフィードバックし、情報共有と知見の蓄積を図る。